



三浦太鼓店 創業 150 周年記念号！



新年明けましておめでとうございます。

昨年も大変お世話になり、本当にありがとうございました。三浦史帆です！
今年は、おかげさまで三浦太鼓店創業 150 周年を迎えさせていただきます。
今回は 150 周年記念号と題し、今を生きる私たち 1 人ひとりのメッセージをお届けします。
また新春第 1 号ということで、新年にふさわしい表紙をと考え、社長の頭を
お獅子でかじることにしました(笑)。これで縁起の良いスタートが切れそうです！o(^o^)
本年もどうぞ、宜しく願い致します。

和太鼓はいきている

～伝統を守り、伝統を創る～

太鼓店新聞

vol.8 2015 年 1 月

絶やさぬ！ 伝統への熱き想い



平成 27 年（2015）は、慶応元年（1865）に初代三浦彌市が豊田から岡崎に出て来て、三浦太鼓店（当時は太鼓屋彌市）を創業してから 150 年という節目の年を迎えます。150 年続けてこられたのは、ひとえに地域のお客さまのおかげと感謝しています。

自分が分かっているのはおよそ 50 年、仕事がなくつらい時代でした。考えるに仕事が少ないことに加えて、父親があまり仕事熱心でなかったことも要因の一つだと思います。いずれにしても太鼓の仕事だけでは生活が苦しく、他に仕事をしながら細々と太鼓屋を続けていました。いつやめてもおかしくない状況ですね！でも父親は、太鼓屋をやめるということを口にしたことはありませんでした。

それはこの地域に江戸時代末期から始まったと伝えられる伝統のお囃子（ちゃらぼこ太鼓）があり、当店を頼りに昔から来てくださっているお客さんがいたからだと思います。明治から昭和初期にかけて、当店のある三河地方には 10 件ほどの太鼓屋があったということです。

三河地方の太鼓屋は、ちゃらぼこ太鼓を中心に太鼓づくりをしていたと考えられます。でも近年になるにつれ需要が減少し、太鼓屋も少なくなって、現在では 2 件だけになってしまいました。万一この 2 件の太鼓屋が廃業したら、特殊な技術とノウハウが必要なちゃらぼこ太鼓の製作ができなくなってしまいます。だからこそ自分も父親同様、学校を卒業して会社勤めをしながら、太鼓屋をやめずに何とか頑張ってきたんです。子供たちに太鼓屋を継いでくれとは言えない状況の中、自分の代までは続けていこうと！



そんな状況が変わってきたのは、20 年位前からでしょうか！そうです、楽しみで太鼓を叩く人たちが出てきたんです。今から 40 年ほど前プロの太鼓チームが誕生し、演奏活動で全国を回るようになりました。それに刺激を受けた一般の人たちが太鼓チームを作り活動を始めるようになりました。現在では爆発的に太鼓人口が増え、ご当地愛知県だけでも 500 を超えるチームがあるとのこと。おそらく全国の太鼓チームの総数は 10,000 チームを超えていると思います。新しい文化として定着したと言って過言ではないでしょう。各地の様々なイベント等で、プロだけでなくアマチュアの太鼓チームが演奏を披露しています。

当店は伝統を守りながら、時代に合った新しい太鼓づくりに挑戦しています。先祖に感謝し、150 年続けてきた太鼓屋をこの先も永く続けていきたいと思う一心で日々の太鼓づくりに精を出しています。お客様に喜んでいただける太鼓を作っていきます。 これからも応援よろしくお願ひします。

三浦太鼓店150年の“今を生きる私”



お陰様でこんにち三浦太鼓店は 150 年を迎える事が出来ました。これも長年にわたり、変わらぬご厚情と、皆様からのお力添えあつての事と本当に感謝の気持ちでいっぱいです。まずはこの場をお借りして、深く感謝申し上げます。そして今こうして 150 年を迎える事が出来たことを心から嬉しく、同時にこれまでの月日の重さをひしひしと感じております。

ものごころついた頃から和太鼓の音、和太鼓のにおい、和太鼓の存在は常に側にあり、生活の一部だったり自分の中の一部でした。小学生に入った頃、和太鼓チームに所属をしました。当時は、目の前にある和太鼓、楽器を、ばちをもって打つ。ただそれだけの感覚でした。和太鼓演奏をする様になり、今では講師もさせて頂いています。和太鼓を目の前にした時、いつも大切にしている事は、和太鼓が持っている生きた大きなエネルギーに負けない様に、自分自身のエネルギーをぶつける事です。

今家業に就き、2年が経ちます。

考える事などなく、当たり前存在だったものと向き合った時、初めて周りや環境、自分を知る事が出来ました。

皮を削る音、皮をたたく音、皮を縫う音、皮を踏む音、鉾を打つ音、胴を削る音、昔から聞いていた音やにおいや空気。

今、和太鼓が出来上がるまでの色々な場面一つ一つに、

150年分の存在をしっかりと感じられます。

出来上がった活きた和太鼓を、活きた音で届ける。

日々、和太鼓の本質と向き合えるからこそ、

伝えていきたいと思っています。



三浦太鼓店 150年の今を生きる私。

今だから出来ること、感じられることを責任をもって和太鼓と向き合っていきます。

そして、今がある様に、

200年 300年と繋がるものとなる様に…

三浦の和太鼓で、皆様に幸せをお届け出来る様、精進して参ります。

和太鼓は僕の“人生そのもの”



こんにちは！ケイさん事、朝倉慶介です。
この三浦太鼓店で働きはじめてあっという間、3年目に入りました。
この3年間は多くの人と出会い、多くの事を学ばせていただき、
本当に濃い時間を過ごすことができたと感じます。
そもそも私が初めて和太鼓に出会ったのは、高校の部活でした。
毎日ひたすら太鼓と向かい合い、青春を全て和太鼓に捧げてきたと
言っても過言ではないと思います。練習前に一人で太鼓を
叩き続けていたぐらい当時から相当な太鼓好きでした。(笑)
高校を卒業して部活を引退しても、やはり太鼓の事を忘れることが
できずに大学生の時、部活の友人の誘いで六代目がリーダーを
務める和太鼓零～ZERO～に入りました。
今考えると、この出会いが本当に大きく僕の人生を変えたなと
思います。

大学3年になると、就職活動が始まりました。自分のやりたいこと
なんて全く見つかっていなかった私は、就職氷河期と言われていた
時代、ただひたすら数多くの会社を検索し、エントリーして会社に出
向く毎日を過ごしていました。そんなことを毎日繰り返している
中で、太鼓のことだけはずっと考えていました。就職活動を
頑張っていたのも太鼓が楽しかったからだと思います。
そんな時、自分の中の“和太鼓”の存在の大きさに気づきました。
もし大好きな和太鼓が仕事にできたらどんなに素敵だろう。
考えていたら頭より先に体が動いて、気がついたらスーツを着て
履歴書を持って三浦太鼓店にいました。
社長からは初め考え直せと言われてましたし、自分も正直不安だらけ
でした。でも、初めて見つけることができた自分のやりたいことを
どうしてもやりたかった。
三浦太鼓店に迎え入れてくれた社長・六代目、職人としての道を
進む事を認めてくれた両親には本当に感謝しています。



1から仕事を学び、今ではいくつかの仕事を任せて
もらえるようになりました。
皮作りや太鼓の胴・台の塗装作業。まだまだ手探りで
修業中ですが、お客様により良いものを届けたい
想いで日々精進しております！
150年続いてきた伝統を守り、
100年以上続くような伝統を創っていく。
三浦太鼓店の活きた和太鼓の音が世界中で響き渡って
いくように、これまで以上に修行に励んでいきます！

私たちの“活きた音”で、皆様に幸せを届けます



こんにちは、六代目彌市です。

家業を継いで早15年が経ちました。

振り返ってみたら本当にあつという間でしたが、こんな若者に多くのチャンスを与えてくださった皆様に今は感謝の言葉しかありません。その中で迎えられる三浦太鼓店150年という歴史。私は“伝統”というのは先人たちの残してくれた“知恵の結晶”だと思っています。

“伝統を守り伝統を創る”

これは今の時代に生きる私たちが掲げた経営理念です。

伝統を守るというのは、受け継がれた“知恵”そのもの。

伝統を創るというのは、その受け継がれた“知恵”を核にし、あらたな時代にもとめられる“音”を創っていきたいという願い。

現代という多様化かつ複雑化した社会の中で

“守る”ためには“変化”することが必要不可欠です。

私たちがなぜ時代のニーズにあわせた“変化”ができるのかというと、こうして先人たちが築いてくれた確かな

“知恵”があるからなんです。

その“知恵”こそが三浦太鼓店150年の歴史。

この価値はどれだけお金を積んでも買えるものではありません。

だってそれは一歩一歩積み重ねられた

歴史そのものなのですから。

おかげさまで私も4人もの子宝に恵まれ、それもすべて

男の子！嬉しいことに、みんな太鼓が大好き(^_^)

伝えてもらった“知恵”をきちんとこの子達にも

受け継いでいきたいと思っています。



六代目としての責任を重く感じることはありません。

ただ、こうした積み重ねられた歴史に対する価値や大切さは歳を重ねるごとに強く感じるようになりました。

150年が私たちにとって一通過点になるよう、しっかりと先人たちの知恵を受け継ぎ、新たな時代に求められる音を作り、200年、300年私たちが信じる“活きた音”を通して皆様に幸せを届けられるようこれからも益々精進していきたいと思っています。

おやじのつぶやき

三浦太鼓店は今年創立 150 年の節目を迎えましたが、おやじも今年還暦です。ヽ(^o^)ノ

振り返ってみれば、長かったような短かったような！誰しもそうであるように、山あり谷ありの 60 年でした。良かったことは子宝に恵まれたこと、子育てのためにがむしゃらに働いてきました。そして今では孫 10 人(まだまだ増えるかもしれませんが!)に囲まれ、幸せなことです。

江戸時代の平均寿命は 50 歳、現在の男性の平均寿命は 80 歳！江戸時代であれば長生きの方ですが、現代ではまだまだ働き盛りです。

スタッフと力を合わせて三浦太鼓店創業 200 年に向けて、少しでも力になれればと思っています。

これからも皆様のご支援をお待ちしています。

編集後記

皆さま、明けましておめでとうございます！！

ケイさんです(^-^)

新聞の表紙や Facebook などでお目に入っているかもしれないませんが、最近なんだか三浦太鼓店にコスプレブームが来ているみたいですね～

いや、正しく言えば六代目に来ているのかな。時代はコスプレだ！って言ってました(笑)。

店先でいつもみんな楽しく人目を気にしながら撮影会を開いております(▽▽)

次はどんなコスプレをすることになるのかな？

さて、今回の新聞は三浦太鼓店創業 150 周年記念号と題しまして、それぞれ熱い想いを書いてもらいました。

新年になり、気持ちも新たに三浦の“音”を皆さまに届けて行きたいと思います。

今年も1年、宜しくお願い致します！

新着&イベント情報

スマホでも三浦太鼓店を検索！！
三浦太鼓店のスマホサイトが出来ました！



三浦太鼓店のスマホサイトが完成いたしました！
お手持ちのスマホから商品が見やすくなり、お問い合わせやご注文もスイスイです(^^)

スマホで【三浦太鼓店】と検索、又は下記の三浦太鼓店 HP QR コードから検索の上、ご覧下さい！

2015年3月29日(日) 第9回 桜まつり太鼓フェスティバル

今年も開催いたします！！岡崎・幸田で活動している太鼓チームが岡崎城二の丸能楽堂に集結。朝から晩まで、一日中太鼓の音を響かせます！

1年に1度、桜の時期の太鼓の祭典。みなさま是非、ご覧下さいませ(^-^)！！



場 所：岡崎公園内
岡崎城二の丸能楽堂

時 間：10:00 頃～20:00

入場料：無料

お問合せ：(株)三浦太鼓店
TEL:(0564)21-2271

<購読無料>

この新聞は不定期で発行しております。購読ご希望の方は HP の三浦太鼓店新聞請求フォームからご請求ください。

URL <http://www.taikoya.net/sinbun.html>

発行責任者：朝倉慶介 三浦史帆

〒444-0072 岡崎市六供町杉本 32-2

慶応元年創業
株式会社 三浦太鼓店

TEL(0564)21-2271

FAX(0564)21-2272

E-mail info@taikoya.net

URL <http://www.taikoya.net/>

HP、SNS紹介

・三浦太鼓店 HP

・六代目ブログ

「和太鼓と生きる」

・三浦太鼓店

facebook ページ

